

帰省時の高速道路での安全走行

～人と車にやさしい運転無事故で安心、岩手の高速道路～

- この時期の高速道路は、交通量が多くなり、混雑が予想されます。**
- また、暑さや疲れからくるぼんやり運転、車間距離不足により、交通事故の発生が多く見受けられます。ほんの一瞬の不注意が重大事故につながるため、ゆとりをもった運転を心掛けるとともに、次のことに気を付けてください。
- ① 全ての座席でシートベルトを着用する。
 - ② 車間距離を十分とる。
 - ③ 進路変更する際は、側方(左右)にも注意する。
 - ④ 速度計を確認しながら、速度の出過ぎに注意する。
 - ⑤ 高速道路を利用する際は、必ずタイヤの空気圧を調整する。
 - ⑥ 万一、事故や故障を起こした際は、ハザードランプで停車し、安全な場所で待機する。
 - ⑦ 追い越し車線は前車を追い越すためだけに使用し、追い越し終了後は走行車線に戻る。戻らないと交通違反になります。
 - ⑧ ETCレーンでは十分な車間距離をとり、時速20km以下の速度で通過する。
 - ⑨ 長時間の運転を避け、サービスエリアなどで休憩し、出発する際は逆走に注意する。
 - ⑩ 混雑が予想されるため、給油やトイレは余裕をもって済ませる。
 - ⑪ 高速道路を長距離利用する際は、あらかじめ給油しておく。
 - ⑫ 動物が高速道路に進入して事故になることがあるので、前をよく見て安全な速度で運転する。

交番だより

警察署からの安心安全に関する情報を皆さんにお届けします。

金ケ崎交番 (☎ 44-5227)
永岡駐在所 (☎ 44-3310)

子育て支援課

金ケ崎町西根鎌水 53

☎ 44-4611 FAX 44-4337

e-mail: kosodate@town.kanegasaki.wate.jp



子育て広場

子育て支援課からのお知らせ

産前・産後のサポートについて

町では、出産前～出産後間もない時期の妊産婦に寄り添い、不安の軽減や心身のケアに関する事業を実施しています。ぜひご利用ください。

○妊婦訪問

町の助産師が家庭訪問を行い、妊娠中の心身の変化や出産後の不安に対する相談支援、産後のサポートや子育て支援の紹介、各種受診票の交付などをします。

■対象 妊娠32～35週頃の妊婦

■料金 無料

■利用方法 対象者に通知後、担当助産師が日程調整の連絡をします。

○産婦健康診査

次の産婦健康診査にかかる費用を助成します。

・産後2週間健診 (受診時期：産後3週間まで)

・産後1カ月健診 (受診時期：産後2カ月未満)

■対象 産後2カ月未満の産婦

■助成額 産婦1人につき5千円(上限額)×2回分

※医療機関が設定する健診料金が5千円を超えた場合は、自己負担金が発生します。

■助成方法

対象者に受診票を交付するので、県内各医療機関で受診してください。県外医療機関で出産した人で、全額自己負担で受診した場合は、後日償還払いの申請をしてください。

○産後ケア訪問

町の助産師が家庭訪問を行い、産婦と赤ちゃんのケアをします(健康状態観察や、母乳育児支援、産後の身体回復や心の安定を促すケアなど)。

■対象 産後1年までの産婦(訪問日時)

■回数 産婦1人につき原則2回まで

■料金 1回の訪問につき500円

■利用方法 出産後、訪問希望日を決めて利用申請(代理可)してください。訪問日が決定したら、担当助産師から電話連絡し訪問します。訪問終了後、担当助産師に直接料金をお支払いください。

図書館だより

図書館からのお知らせ

町立図書館

☎ 41-1900 FAX 44-5661
金ケ崎町西根西地蔵野 5 開館時間：10:00～19:00

information

▶夏のティーンズ図書館

■期間 開催中～9月29日(火)

■内容 ティーンズをテーマに企画展を集中開催

▶ミライラボ企画展「トショカン2030」

■期間 開催中～9月29日(火)

■内容 図書館員などが「2030年の図書館」をイメージしキーワードを集め、関連図書とともに、未来の図書館を皆さまとともに考えるきっかけ作り

▶ミライラボ企画展「SDGs×Society5.0」

■期間 開催中～9月29日(火)

■内容 金ケ崎町の社会教育事業「ミライラボ」、持続可能な開発目標「SDGs」、未来の生存戦略「Society5.0」という3つの分野を分かりやすく解説し関連図書を紹介

▶子ども企画展「夏の課題図書」

■期間 開催中～9月29日(火)

☆Teen's 企画展「ティーンズマンガ」

■日時 9月29日(火)まで

■場所 入口本棚コーナー

ティーンズ(小中高生)向けのマンガを集め企画展を開催しています。

今、はやりのマンガをはじめ、岩手県出身の郷土作家もご紹介いたします。例えば、「ハイキューー!!」古舘春一さん(軽米町出身)、「ドラゴン桜」三田紀房さん(北上市出身)など。マンガをテーマとした図書館の企画展は珍しく、当館でも初めての試み。大人気です。



ふるさとへの

風だより



在京金ケ崎人会 顧問
たかはし のぶ お
高橋 信男 さん
東京都在住、永徳寺出身

新宿の有名な寄席「末広亭」の近く、小料理屋「げんき」を訪ねると、ママさん(北上市出身)に「ノブオさんの所はカネがサキだもね」と冷やかされ、改めて自分は金ケ崎の出であるとともに、カネがサキであることをよくからかわれた楽しい日々がありました。

さて、「金ケ崎」の名で

有名なのは「金ケ崎の退き口」のお話で、浅井長政の裏切りを、お市の方が、兄信長に、手紙では怪しまれるため、小豆入りの袋の両端を縛り、陣中見舞いとして「袋のねずみ」であることを伝えた有名なお話です。

訪ねてみると、金ケ崎城跡と称して、小高い丘が海に面して横たわっており、登り口には、「金ケ崎神社」の鳥居と社務所ののぼりが海風になびいており、「北陸の海と陸の要衝」であったことがしのべられます。

町中に出ると、電柱や玄関には「金ケ崎町」の表示や看板が一層親近感を湧かせてくれております。

平泉の能楽堂は「白山」と呼ばれておりますが、弁慶・義経一行が平泉を目指した道中、現在の「安宅の関」辺りの白山連峰と、金ケ崎や能楽堂から見る「焼石・経塚山」は、あまりにもよく似ていて、ただ驚くばかりです。

※「金ケ崎城」

福井県敦賀市金ケ崎町

在京金ケ崎人会からお願い
★首都圏在住の金ケ崎出身の方々をご紹介ください。
☎ 事務局(金澤志年)
▶☎・FAX 044-711-2310
▶mail skshoukai@gmail.com